



旨いもの食べにイノシシ里に下り

作/松本 かよ

2009年 10月

題 旨い

[松本 かよ さん]

危険をおかして里に下りてくるイノシシを想像して詠みました。“まもる賞”、感激で涙がこぼれました。

[西沢まもるの一言]

私、イノシシ年の生まれのせいかわいイノシシになってしまっすみません。



おびんずる 街が元気に踊り出す

作/チャトラン

2009年 7月

題 祭り

[チャトラン さん]

重なり合うしゃくしの音に元気をもらいます。

[西沢まもるの一言]

景気回復を願って「そ〜れ、そ〜れ」ですね。期待してま〜す。



空き地でも掘れば温泉湧いた夢

作/小林 伸風

2009年 4月

題 湧く

[小林 伸風 さん]

遊び心をくすぐる課題で楽しく作りました。ああ、身近な処に湧いたらいいですね「温泉」。独鈷温泉につづいて…。

[西沢まもるの一言]

夢でなく、ほんとうに温泉が出てみんなで入れたらいいのにね。



一行に 心根伝う 暖かさ

作/綾松

2009年 1月

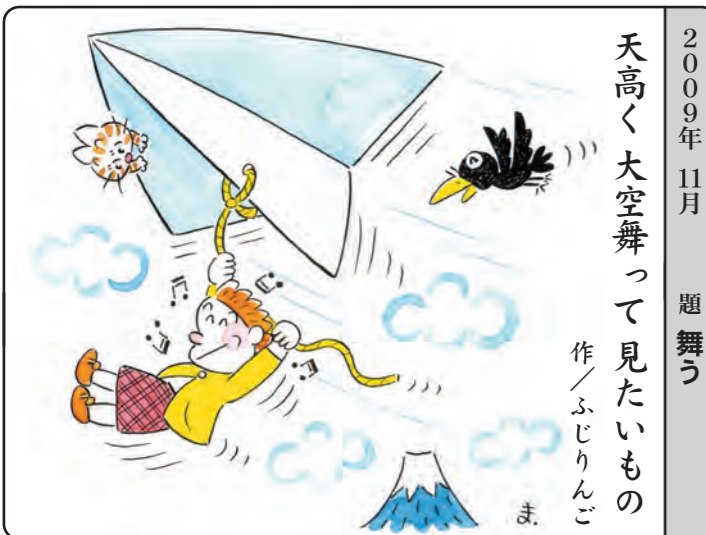
題 一

[綾松 さん]

親友の娘さんが男児に恵まれた時、いただいた内祝いに添え書きがありました。その時感じた事を思い出し、句にしました。

[西沢まもるの一言]

一行というと、直ぐ『お仙泣かすな…』を思い浮かべてしまいます。川柳も、この一行に通じるものがありますね。



天高く大空舞って見たいもの

作/ふじりんご

2009年 11月

題 舞う

[ふじりんご さん]

空があまりにも良く晴れており、日頃のもやもやを忘れ、天に昇って舞って見たい気持ちになりました。

[西沢まもるの一言]

この時季、気分良く空を舞うには、カイロが要りますね。



いらっしやい 故郷の山あたたかい

作/小林 伸風

2009年 8月

題 ふるさと

[小林 伸風 さん]

たとえ意気消沈していても、故郷の山は“よく来た”と迎えてくれます。山に元気を貰うことが増え、そんな心境を詠みました。

[西沢まもるの一言]

ふるさとの山は、いつもだまって静かに迎えてくれますね。でも悪い事をして帰ったらどうなのでしょうね？



ばばナビは右よと言って指左

作/関 ゆきみ

2009年 5月

題 ドライブ

[関 ゆきみ さん]

私自身がやってしまう、笑える失敗談のひとつを詠みました。T字路で口と手があべこべで、夫の運転、おとととでした。

[西沢まもるの一言]

これはわが夫婦の日常の光景です。ただ、ナビ役は免許を持たない私ですが。



鍋が待つ夕餉に帰る足軽く

作/てくてく

2009年 2月

題 鍋

[てくてく さん]

「今夜は、温かいお鍋にでもしようかね」と母が言うと、夕方家族は心楽しく帰宅する。そんな情景を思い出しました。

[西沢まもるの一言]

あまりに美味しくすぎる鍋はMondayです。私などつい食べすぎてしまいます。“メタボ”に注意！



野良猫がすごみきかせて振り返る

作/久保田 本子

2009年 12月

題 振り返る

[久保田 本子 さん]

可愛い猫がいたので捕まえて抱こうとしたら、すごみをきかせてにらみ、逃げていきました。

[西沢まもるの一言]

子供の頃、イヌに追いかけられたことはありますが、ネコはありません。が、ネコはこわいすね。



選ばない人にも手を振る 選挙カー

作/宇田 半茶坊

2009年 9月

題 選挙

[宇田 半茶坊 さん]

候補者は自分への投票を信じて、手を振るのでしょうか。思いやりのある政治を期待したいものです。

[西沢まもるの一言]

今回の衆院選、私も見ていただけでお礼を言われてしまいました。



傘さしてメタボの腹が濡れている

作/宮尾 柳泉

2009年 6月

題 雨

[宮尾 柳泉 さん]

メタボリック対策で続けているウォーキング。これは成果が出ていない証拠。もっと頑張らなくちゃ。

[西沢まもるの一言]

前方へ振り出した傘があるといいですね。でも先ず脱メタボですか！



春憎しクシャミハナミズ 杉花粉

作/倉ちゃん

2009年 3月

題 花

[倉ちゃん さん]

ワクワクする楽しみ多いこの季節、どこへ行くのもマスクとティッシュが必需品。気分すげず。早くすぎ去れ〜と、申し上げたい。

[西沢まもるの一言]

剣豪もスギ花粉には勝てない！皆さん、春はあっという間に過ぎますよ。